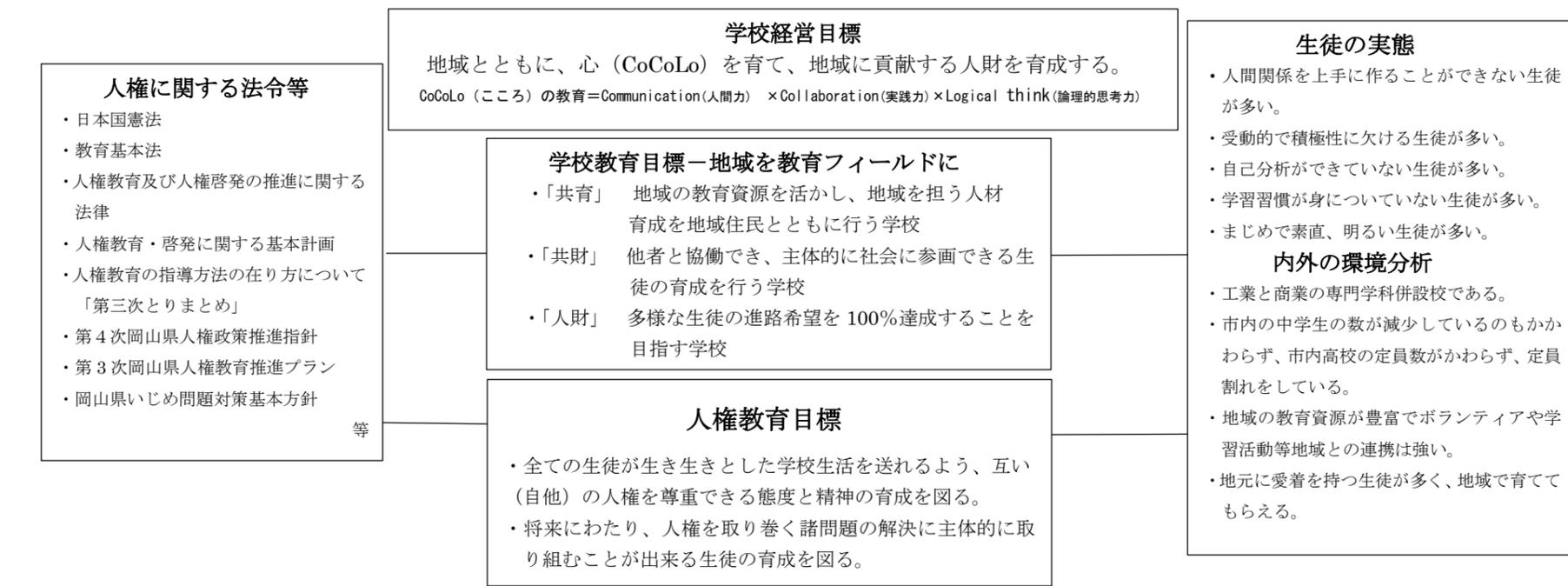
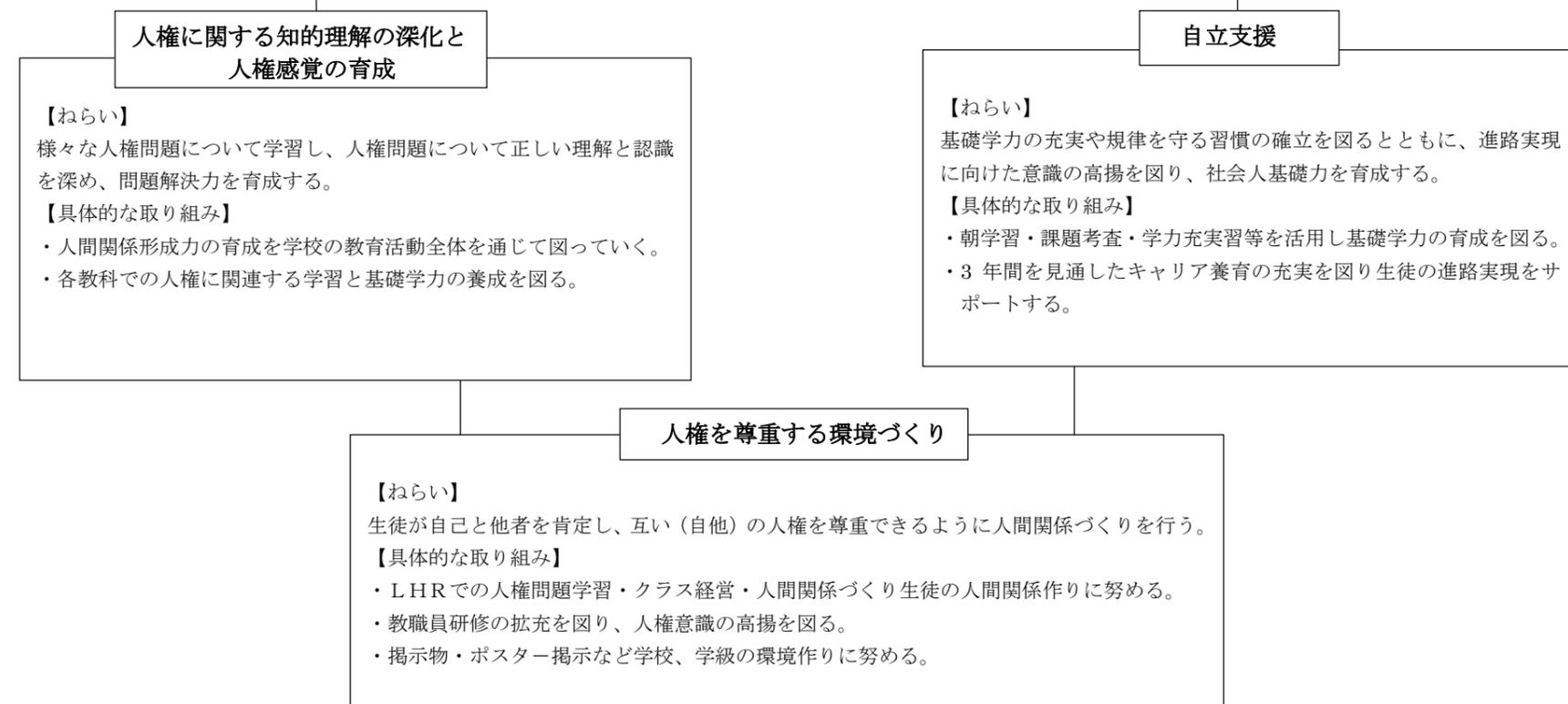


令和元年度 玉野市立玉野商工高等学校 人権教育全体構造図



各学年の人権教育目標 (重点目標)		
1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を深め、他者の気持ちを配慮し関わりを持つことができる。 自己の進路実現に向けて具体的に考え始めるとともに基本的な生活習慣・学習習慣を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解に努め、校内外の他者との協力関係を築くことができる。 進路実現に向けて具体的に考え、学習を継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解をより深化させ、校内外の他者とのお互いの立場を理解し自発的に働きかけ協働関係を築くことができる。 生涯を通じた自己のキャリアについて具体的な視野を持ち学習を続け、行動することができる。



関連を図る取り組み				
総合的な学習の時間	特別活動	生徒指導	進路指導	部活動
<ul style="list-style-type: none"> 進路や地域に関する課題を発見・追求・解決・表現していく活動を通じて、自己理解および他者理解を深めるとともに、自らの進路設計を行い将来に対する明確なビジョンを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や開校記念行事、雄心祭、学校行事等を通じて望ましい人間関係の形成や、よりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解の深化を図る。 人権尊重の視点に立った個別指導や集団指導の充実を図る。 LGBTに配慮した制服の研究・検討を始める。 未来手帳の改良を進め、生徒に使いやすい形に刷新していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の充実と進路実現に向けた意識の高揚を図り、社会人基礎力を身につけさせる。 キャリア教育の視点に立った指導の充実と、個々の生徒の能力・個性・希望に応じた進路指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が生涯にわたってスポーツや芸術文化の活動に親しむ基礎を形成する。 責任感・連帯感の涵養を図る。 知・徳・体のバランスのとれた心身の成長を図る。

家庭・地域・校種間の連携

- 学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとして小・中学校・地域との連携をよりいっそう充実させる。
- 地域・保護者に対し学校における人権教育の理解と啓発を行う。
- PTA活動との連携を図る。

教職員研修

- 様々な人権問題を学び人権意識・人権感覚の高揚に努める。
- 教職員研修を定期的で開催し、教職員の人権意識の高揚に努める。
- ユニバーサルデザインを取り入れた人権が尊重される学習活動作り、人間関係作り、環境作りについて、学年団を中心に積極的に実践を交流する。
- 授業研究を通じて、人間関係形成力の高揚を図る指導方法等の工夫改善を行う。